

2018年2月8日(木)

有明新報 3面

あす産学官連環交流会

企業や学術機関発表も

大牟田

ツカダ社長が基調講演

第15回おおむた産学官連環交流会が9日午後1時半から同5時まで、大牟田市旭町のホテルニューガイア・オームタワーで開かれる。刃物産業のまち、岐阜県関市で伝統技術を活用し、消費者向け新規事業に挑戦した株式会社ツカダ代

表取締役の塚田浩生さんによる基調講演のほか、企業による産学連携や学術研究機関におけるシーズ発表などが行われる。当日は開会あいさつの後、塚田さんが「発想と挑戦が切り拓く未来への鍵」を演題に基調講演する。同

2時40分からのシーズ&事例発表会では福岡大学工学部社会デザイン工学科交通・都市システム研究室助教の古城秀治さんが「子ども目線で考える、未来につながるまちづくり」、有明工業高等専門学校寄附講座特命助教の野口卓朗さんが「寄

を考え、社会の健康増進に貢献」について発表。同4時15分から支援制度説明会があり、終了後、同5時20分から同6時40分まで懇親会も催される。

連環交流会の参加は無料。懇親会の参加費は2千円。申し込み方法など、問い合わせは大牟田市地域活性化センター(電5617717番)へ。(河野 美緒)

連携から挑む新たなステージ

100 大牟田市100周年記念事業
2.9 13:30
参加費無料(昼食費2,000円)
PROGRAM
13:30 開会式
15:00 基調講演
16:40 シーズ発表
17:00 懇親会
17:20-18:40 懇親会

交流会への来場を呼び掛けるチラシ

附講座「人工知能・ビジネス講座」が目指すもの、帝京大学福岡医療技術学部作業療法学科准教授の轟木健市さんが「作業療法におけるヘルスプロモーション」ひとと作業、健康との関係